■外来案内ボランティアの活動を紹介します！

九州大学病院外来診療棟１階ロビーでは、「外来案内ボランティア」が活躍しています。外来案内ボランティアは、受診で来院した患者さんに、自動再来受付機の操作説明や診療科など目的の場所までのご案内などを行っています。

患者さんの自主性を尊重しながら、患者さんに寄り添うサポート活動を心掛けています。

「人の役に立つ楽しさ、感謝されることの喜び、社会と関わることで、生活にも張りが出てきます」とボランティアメンバー

①自動再来受付機の操作説明

②医療費自動精算機の操作をサポート

③車いす利用の患者さんを介助

④活動を通して案内板の充実など、患者さんの目線で提案

外来案内ボランティア

おもな活動内容

- 自動再来受付機の操作説明
- 車いす利用の患者さんの介助
- カートやベビーカーの貸し出し
- 見守りが必要な方へ診療科までのご案内など

活動日時

毎週月曜―金曜（祝日除く）
9：00―12：00

活動場所

九州大学病院　外来診療棟１階

外来案内ボランティア募集中！

外来案内ボランティアを募集しています。

月曜日から金曜日の午前中に活動していますので、〝無理のない範囲で、患者さんのお役に立ってみませんか？　人と人とのふれあいを持ちたいとお考えの方、患者さんのプライバシーを守ってくれる仲間をお待ちしています。

《お問い合わせ》

九州大学病院ボランティア委員会
ボランティア・コーディネータ　姫島
TEL：090-8660-8538

九州大学病院　患者サービス課医事係
TEL：092-642-5981
e-mail：byniji@jimu.kyushu-u.ac.jp

時間帯などについてはご相談ください

外来診療棟エントランスホール

※担当配置をしているわけではありません。あらかじめご了承ください

病院にお越しの際は保険証をお忘れなく！
※保険証の呈示がない場合には、保険での取扱いができません。

九州大学病院（病院キャンパス）は敷地内全面禁煙です。

■病院の理念

患者さんに満足され、医療人も満足する医療の提供ができる病院を目指します。

■基本方針【理念に基づく実行目標として、下記の5つを掲げています】

①地域医療との連携及び地域医療への貢献の推進
②プライマリ・ケア診療の充実
③全人的医療が可能な医療人の養成
④専門医療の高度化を目指した医学研究の推進
⑤国際化の推進

九州大学病院
KYUSHU UNIVERSITY HOSPITAL
TEL 092－641－1151［代表］　FAX 092－642－5146［外来］
〒812 - 8582 福岡市東区馬出３丁目１番１号
〈ホームページ〉 http://www.hosp.kyushu-u.ac.jp

九州大学病院
KYUSHU UNIVERSITY HOSPITAL

九大病院だより

第65号
平成29年5月

九州大学病院 広報委員会発行

■本当は怖いエコノミークラス症候群

――心臓外科医が挑む急性肺血栓塞栓症

エコノミークラス症候群とは？

エコノミークラス症候群とは、何らかの原因で下肢の静脈に血栓（血の塊）ができ、その血栓が血液の流れに乗って肺に到達して、そこで血管（肺動脈）を閉塞させてしまう病気です。正式には「急性肺血栓塞栓症」といいます。飛行機のエコノミークラスなどの狭い空間で長時間同じ姿勢をとるとこの病気を発症するため、通称「エコノミークラス症候群」といわれるようになりました。

もちろん、ビジネスクラスや地上生活でも発症することがあります。近年は、あるスポーツ選手がこの病気を発症したこと、大規模災害の時に車中泊を続ける避難者に死亡者が出たことなどから、広く知られるようになりました。

症状は、どの程度の大きさの血栓が血管を閉塞させたかによりますが、多くの場合、患者さんは呼吸困難や胸の痛みを訴え、時には失神することもあります。いずれにせよ、症状が突然現れることがこの病気の怖い点です。

どのような場合に発症しやすいか?

長時間同じ姿勢をとること以外にも、**表1**のように血液が血管内で停滞しやすい状態では血栓ができやすく、この病気を発症する可能性が高まります。また、生まれつき血液が固まりやすい性質の人や、極度の脱水状態、長期臥床でも発症する可能性があります。

危険の大きさ	危険因子
弱い	脱水・肥満・経口避妊薬・下肢静脈瘤
中等度	妊娠・高齢・長期臥床・うっ血性心不全・呼吸不全・悪性疾患・重症感染症他
強い	静脈血栓塞栓症の既往・血栓性素因・下肢麻痺

肺血栓塞栓症/深部静脈血栓症（静脈血栓塞栓症）予防ガイドラインより改変

表１　エコノミークラス症候群を発症しやすい原因

エコノミークラス症候群の治療について

１．薬物治療

肺動脈にできた血栓が比較的小さい場合は症状も軽く、心臓や肺の機能に大きな影響を与えないこともあります。この場合には、血栓がこれ以上大きくならないように、そして数が増えないようにする薬（抗凝固薬）を投与しながら、経過を見ます。

２．カテーテル治療

肺動脈にできた血栓が大きく、心臓や肺の機能を大きく損なう状況では、薬物治療を行う余裕がないため、カテーテルで直接血栓を取り除き、閉塞した血管を再開通させます。

３．手術

最重症型では、患者さんがショック状態となって病院へ搬送される場合があります。この場合は、一刻を争う治療が必要となり、救命のために即座に機械による呼吸と循環のサポート（経皮的心肺補助装置、**図１**）を開始する必要があります。

呼吸や血液循環を保つことができないような肺動脈の中枢側にある大きな血栓の場合には、手術がもっとも効果的な治療です（**図２**）。手術では、人工心肺を使用し、心停止や循環停止などの特殊な方法をしばしば併用する必要があります。

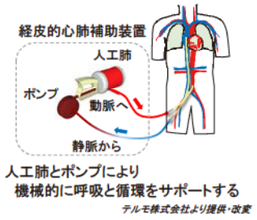
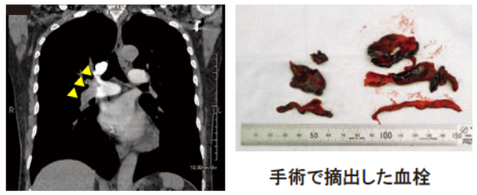


図１　経皮的心肺補助装置



手術で摘出した血栓

図２　手術例：右肺動脈の中枢側が血栓で閉塞している

さいごに

エコノミークラス症候群は、誰にでも起こり得る、そして突発的に呼吸や血液循環が不安定になる怖い病気です。心臓外科医しか治せない最重症型のエコノミークラス症候群があります。九州大学病院の心臓血管外科では、最重症型のエコノミークラス症候群（急性肺血栓塞栓症）に対応できる体制を整えています。ご不明な点はお気軽にご相談ください。

■心臓血管外科　外来
初診：火・(水)・(金)　※紹介状、予約が必要です。
お問い合わせ：092-642-5565
※急患はこの限りではありません。
担当：心臓血管外科　塩瀬　明（科長）ら７名

▶▶▶ 診療科のご案内 ①

胆道・膵臓・膵臓移植・腎臓移植外科

胆道（胆のう・胆管・十二指腸乳頭）、膵臓の良・悪性疾患に対する外科術式は、手術の傷跡が小さな鏡視下手術から血管合併切除を伴う超高難度手術まで幅が広く、例えば胆石症などは、開腹手術ではなく内視鏡を用いた治療を選択することも可能です。

当科はそのほぼすべての治療方法に高い技術力をもって対応することができる、わが国でも有数の診療科です。また以前は不治の病といわれた膵がんも、最近では有効な薬物療法が開発され、他科と連携した集学的治療（薬物療法、放射線治療、外科治療を組み合わせた治療）によって、治療成績も向上しています。

また膵臓移植と腎臓移植件数もわが国有数で、生体腎移植、心停止下腎移植、脳死下膵腎移植など、あらゆる状況に24時間いつでも対応できる体制を整えています。

当科が行う診療には高度な手術手技だけではなく、きめ細やかな周術期（術前術後を含めた一連の期間）管理とそれを支えるチーム医療が求められます。他科との連携をはじめ、コーディネータなどの多職種の医療スタッフとも緊密に連携しながら、個々の患者さんの状況に応じた最適な治療を提供できるよう、つねに心がけています。

胆道・膵臓・膵臓移植・腎臓移植外科：http://www.hosp.kyushu-u.ac.jp/shinryo/geka/01/2.html

▶▶▶ 診療科のご案内 ②

顔面口腔外科

ナビゲーションシステムを用いた顎矯正手術(上)と3D プリンタを使用した手術用プレートの準備

口腔にはう蝕（むし歯）、歯周病など歯や歯肉の病気だけでなく、口腔粘膜や顎骨の炎症、腫瘍、のう胞、先天・後天異常など、さまざまな病気が生じます。顔面口腔外科では、これらの口腔疾患の最新医療を幅広く提供しています。

とくに、系統的に診療を行っている疾患は口唇・口蓋裂、顎変形症、口腔悪性腫瘍です。口唇・口蓋裂に対しては出生直後から成人までの一貫治療で、口腔機能と美的形態の改善と回復を目指しています。顎変形症では、骨格の形成のみならず、軟組織、いわゆる見た目の変化にも留意した治療を行っています。口腔悪性腫瘍に関しては、5年生存率75％以上の高い成績を維持しています。

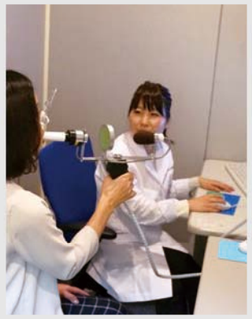
また、積極的に新しい技術を取り入れて、コンピュータシミュレーションやナビゲーションを取り入れた顎変形症の手術、3D プリンタで作製した実体模型を用いた腫瘍切除後の顎骨の再建、より正確で安全な手術を効率的に行うとともに、次世代の新しい治療技術や機器の開発に取り組んでいます。

顔面口腔外科：http://www.hosp.kyushu-u.ac.jp/shinryo/dent/08/index.html

■連載　メディカルスタッフを紹介します [23]

このコーナーでは本院の医療スタッフの役割を順次、紹介します

言語聴覚士［2］



耳鼻咽喉・頭頸部外科には、聴覚専門の言語聴覚士が3名、喉頭専門の言語聴覚士が2名在籍しています。おもな業務は、「聴覚のリハビリや、音声・嚥下（食事の飲み込み）のリハビリ」「聴覚や音声の検査」です。補聴器や人工内耳などの補聴機器の調整、聴覚障害児者が社会的に自立できるよう取り組む治療と教育、コミュニケーション指導・訓練などを行っています。

また、全科からの依頼に対し、嚥下訓練も行っています。本院では、嚥下障害を疑われたすべての患者さんに、耳鼻科医による嚥下機能評価を行っているため、状態を正確に把握しリハビリに臨むことができます。その他、声がうまく出せない患者さんに対し、音声治療を行っています。

診察では言語聴覚士が立ち会うことも多く、医師と情報を共有しながら治療を進めています。耳鼻科医や関連施設・教育機関などと連携しながら、患者さん一人ひとりに合ったリハビリを提供できるよう頑張っています。

口の治療が、病気の治療を支えます！
医科歯科連携推進プロジェクト

手術を受ける患者さん、抗がん剤治療を受ける患者さん、糖尿病の患者さん、免疫の低下している患者さんなど、さまざまな病気で九州大学病院に通院している患者さんは、口の中の歯や歯ぐきの異常を治療することで、本来必要な病気の治療をより効果的に受けることができるようになります。

九州大学病院では、医科歯科連携推進プロジェクトを開始し、医科に通院中の患者さんが、九州大学病院の歯科を受診しやすいように新しい仕組みを作りました。口の中が心配な方は、「本院内の医科」または「外のかかりつけ病院」のいずれを受診中であっても、いつでもご自身の主治医にご相談ください。下記のような治療を行います。

例えば…　1 糖尿病の方には悪くなりがちな、歯周病
2 外科手術の方には誤えん性肺炎などの予防のために、口腔ケア
3 抗がん剤治療の方には口内炎の軽減のために、口腔ケア

予約の取り方については、本院主治医にご相談ください。

歯科受診の流れ

とくに診療科の指定がある場合を除き、歯科予約窓口は「歯科総合予診」が担当します。

- 本院医科受診中の患者さん
  医科からの院内案内（他科受診）
- 「かかりつけ医（医科）」で治療中の患者さん
  紹介状を書いていただき、患者さんご自身で予約
- 紹介状、他科受診がない患者さん
  治療費とは別に定額負担として 初診 歯科3,240円が必要

→ 歯科総合予診「適切な診療科などの判断を歯科医師が行います。」 → 歯科各診療科

お問い合わせ
歯科総合予診　TEL：092-642-4429
初診受付
月－金　8:30-11:00

九州大学病院別府病院
検査室

九州大学病院別府病院の検査室は、1977年に設置されました。その後、現在は福岡本院検査部との連携を深め、同じ運営方針のもと、三森検査室長（外科長併任）、東保医師（病理医）、臨床検査技師7名の体制で、患者さんにとってより良い治療を実施・サポートできるよう、日々の検査業務を実施しています。

小規模ながらも検体検査、輸血検査、細菌検査、病理検査、生理検査などの業務を行っています。2014年の年末から年始にかけて、大規模病院と遜色のない分析装置が導入され、今年度は久々に新人技師を1名迎え、モノ・ヒトともにフレッシュな検査室となりました。

今後はより一層、精密、迅速な検査を通して正確な診療に貢献すること、さまざまな院内活動・委員会活動（NST、ICT、糖尿病教室など）への積極的な参加を通して患者さんへの安全・安心な医療の提供に貢献することに、本院検査部と連携を図りながら取り組んで行きます。

また、“大学病院の検査室”であることを念頭に、各診療科が行う研究活動への協力、学生実習の受け入れなどの後進の育成、さらに、他職種の医療技術部員とも協力し、共同で研究テーマを設け医療の質の向上にも努めています。

■国際医療部　国際診療支援センター
――外国人患者受入れ医療機関認証制度（JMIP）の認証を取得しました

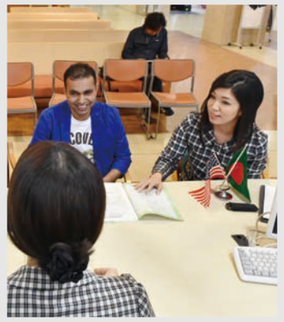
この度、九州大学病院は、2017（平成29）年 3月15日付で「外国人患者受入れ医療機関認証制度（ＪＭＩＰ）」の認証を取得しました。国立大学附属病院としては全国で2番目の認証です。

現在、日本国内の病院や検診施設などでは、さまざまな外国人の患者さんの受け入れのために、多言語による診療案内、異文化や宗教に配慮した対応などが求められています。

このＪＭＩＰは、医療を必要とするすべての外国人の患者さんにも対応でき、安全・安心な医療サービスを提供できる体制づくりの支援を目的とした制度のことで、第三者機関の日本医療教育財団が審査にあたります。

病院の現況や自己評価などの書面調査のほか、病院職員との面接や訪問調査を日本医療教育財団の認定調査員が行い、認証審査会で最終的な判断が下されました。

本院では今後も、医療現場での対応マニュアルや外国語会話集などのツール、院内表示などを順次見直し、外国人の患者さんの受け入れ体制を整備していきます。



お問い合わせ
国際医療部　国際診療支援センター
TEL：092-642-4231